

返礼品紹介

ツリーハウスKOGE宿泊券

大池公園に新たに誕生したツリーハウスに宿泊していただく、現地体験型の返礼品です。自然との一体感とわくわくする非日常感をお楽しみください。



返礼品協力事業者募集

上毛町にふるさと納税をしていただいた方に対し、地域内で生産・製造された品や提供するサービスのチケットを返礼品としてお贈りしています。町では返礼品を提供していただける協力事業者を随時募集しています。町内にお住まいの方、店舗や事業所がある方であれば、個人・法人を問いません。ご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

☎ 税務課 ふるさと活性係 ☎ 72-3879(内線138)

日本とちがう!? タイの運動会事情 (・□・;)

CIR(国際交流員)  
ブーンシリ・ナタオーン

上毛町の小中学校では、5月になると子どもたちの元気な声が校庭いっぱい広がります。運動会(体育大会)は、玉入れ、綱引き、徒競走、リレー、大玉転がし、障害物競争などの定番種目が繰り広げられ、家族や地域の応援で大いに盛り上がる伝統行事です。赤組・白組などに分かれて行う応援合戦は、子どもたちの団結と笑顔を引き出し、地域全体が一つになる瞬間でもあります。

一方、タイの学校でも「Sports Day(ギーラーシー)」と呼ばれる運動会が行われており、こちらも子どもたちにとって大切な学校行事です。ただし、日本と比べると、その進行や内容、雰囲気にはさまざまな違いが見られます。ここでは、タイの運動会の特徴をご紹介します。



タイの運動会の特徴

1 運動会の期間が超ロング!

タイの運動会の多くは、月曜日から金曜日までの5日間にわたって実施されます。その週は通常の授業を行わず、学校全体が運動会一色となります。

また、開催時期は11月~12月が多いのも特徴です。これは、1年の中で最も気温が穏やかで、屋外でも過ごしやすい季節だからです。数日間かけて競技や応援の準備を行い、最終日に向けて盛り上がっていく点が、日本の運動会とは大きく異なります。

3 色分けがカラフル&自由!

タイの運動会では、紅白ではなく、ピンク・紫・水色・緑・黄・赤など、複数の色に分けてチームを編成します。チーム名には、それぞれの色にちなんだ花の名前が付けられることもあり、個性が感じられます。「ギーラーシー」は、「ギーラー(運動・スポーツ)」と「シー(色)」を組み合わせた言葉で、色ごとに団結して競い合う、タイならではの文化を表しています。

2 競技種目が本格的!

日本の運動会では、かけっこや玉入れなど楽しみながら参加できる競技が中心ですが、タイでは公式スポーツが多く取り入れられる傾向があります。サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ペタンクといった球技に加え、リレーなどの陸上競技も行われ、体力や技術を競う競技が中心です。複数日に分けて大会形式で進められるため、一つひとつの競技が本格的に行われる点も、日本の運動会との大きな違いと言えます。



4 応援団・チアリーディングが本気!

競技はおおよそ1~4日目までに行われ、最終日は応援発表が中心となります。マーチングバンドやドラムメジャー(マーチングバンドにおける指揮者)、チアリーディング、そして「カードスタント(文字や絵を表現する集団演技)」などが披露され、応援の完成度をチームごとに競い合います。数日間かけて準備された演技やデコレーション、華やかな衣装からは、応援にかける強い情熱が感じられます。



日本とタイでは運動会の形は異なりますが、どちらにも共通しているのは、「子どもたちが全力で体を動かし、仲間と協力しながら成長できる場」であるということです。日本の運動会も、タイのカラフルでにぎやかな運動会も、子どもたちにとって心に残る大切な行事であることに変わりはありません。これからも、異文化の視点を通して、学校行事の魅力を感じていただければと思います。



一短歌

逝くまぎわ水晶のごとくに母の手が見えしはあれは錯覚だったか 故 高畑 廣視  
前置きの長い課長の話からわれら十人の異動を察せり  
退職の記念に買ひしこの基盤つかはぬままに五年が過ぐる  
教え子の葬儀を終へて雨のなか重き花びら散る道帰りぬ  
池の辺に轢かれし蛙の扁平に四肢を伸ばして春の陽返す  
汗にじみ色変りたる麦わら帽「苦勞」と言ひ火中に投ず  
四日目の土押し上げて芽の覗くひと列ふたつらみつら豆の子  
いとけなき指ひらきし手のくぼに雛芥子のつぶ千の命の  
刈りあとの田の畦に寄り嬬らの麦わら細工の「ぎつこんばつたん」

二反田 和美選



一川柳

目指すものあつて心に灯をともし 白木すなえ  
長生きのまだまだ途中百はずぐ  
国民にしわ寄せよりも幸せを 小川 一昭  
振り込めと言われたその額持そない  
見え張らず杖を道づれ初詣で 小出石美典  
孫みごと舞台せましと舞う神楽 桐村 佳苗  
難聴も友に恵まれ八十路坂 小林 正文  
ざわざわと一時騒がし村の寄り  
ランドセル跳ねて踊って親子づれ  
目が笑い心も踊る田植祭

小林 正文選

川沿いに癒しを求め桜植え 中島 新一  
不登校叱るだけでは育たない  
母さんの明りはいつも温かい 林 嘉子  
青空が元気をくれる麦畑  
四季の国どうやら二季化気が重い  
大相撲四つに組んだよ火花散る  
叱られてすね方上手甘え猫  
叱る前一息ついてネ若いママ  
横川 洋子

中島 新一



一俳句

蓮植ゑて甕に水足す朝かな 尾形 忍選  
紅梅や庭に転がる甕二つ  
鶯餅つまめば初音もらしけり  
圃場整備かてらず独り春田打つ  
あかあかと夕日の小道椿落つ  
寝転びて見上げし空やたんぼ野  
退院し脚伸すわが家初つばめ  
豊後富士のぞむ山の湯鳥雲に  
梁ふとき藁家の土間や初つばめ  
菜の花や暮らしつしましき三回忌  
春なれや一足はやく孫の生れ  
つくばひに浮かぶ一片桜散る  
ひかり帯び飛び立つ一羽春の湖  
土踏めば匂ふふるさと春の山  
墓の雪払ひて祀る彼岸かな  
静なる富貴寺の森の初音かな  
「好いとう」と口には出さず葛湯吹く  
菜の花やひかり携え遠賀川  
ボンタン館母に供ゆる彼岸かな  
青首を刎ねられ生くる大根かな  
猫の目のたての一筋寒明くる  
風にまだ残る冷たさ露の臺  
阿蘇五岳橋桁にして春の虹  
川中不動囲みねぎらふ花筏

尾形 忍選

白木すなえ  
尾形 忍  
小川 恵子  
尾形 康子  
木下テル子  
末久 正子  
竹下 恵子  
霍野 廣由  
永野ひとみ  
原井みえ子  
藤本 正吾  
三原 逸郎